

家畜衛生広報



ながの

長野家畜保健衛生所
北信家畜畜産物衛生指導協会
〒380-0944 長野市安茂里米村1993
Tel 026-226-0923 Facs. 026-227-2665
E-mail:nagakachiku@pref.nagano.lg.jp

PEDワクチンの積極的な利用をしましょう！！

長野県内で豚流行性下痢(PED)が発生してから1年がたちました。この間、県内で発生した2農場のうち1農場は非発生農場となりましたが、1農場では7月30日現在も継続発生しています。

全国的な発生は減少傾向にあります。7月には茨城県、千葉県でその発生が確認されています。これから、秋から冬に向けその発生が危惧されるため、継続してPED対策を実施してください。

発生県 (発生地域)	茨城県 (鹿行地域)	千葉県 (県北部)
発生農場数	1	1
飼養頭数	約40,000頭	2,800頭
発生頭数	哺乳豚1,580頭	肥育豚15頭
症状	下痢・嘔吐	水様性下痢



【PED対策】

ウイルスはどこから農場内に侵入するか分かりません。そこで以下の対策を普段から講じてください。

- 1 農場内専用の衣服を用意する。
- 2 豚舎毎に入口に消毒槽を設置する。
- 3 豚輸送用車両の消毒を実施する。
- 4 導入豚は隔離施設で異状がないことを確認する。
- 5 豚舎内への野生動物の侵入を防止する。
- 6 疾病の早期発見、担当獣医師又は家保への早期通報
- 7 PEDワクチンを利用する。



【PEDワクチンについて】

本ワクチンは、母豚の分娩前に2回接種し母豚の免疫力を向上させ、乳汁中に産出される抗体を子豚が摂取することにより、子豚の腸管内に侵入してきたウイルスが中和し効果が発揮するものです。つまり、子豚が十分乳汁を摂取できる飼養管理が大切です。また、本ワクチンは感染を100%防ぐものではなく、感染してもその被害を減少させるためのものです。

暑い日が続いています。暑熱対策を継続実施しましょう。

消毒は伝染病予防の第一歩
まずは踏み込み消毒槽を畜舎に置きましょう



信州ACE(エース)プロジェクト

△otion [体を動かす]

□heck [健診を受ける]

■eat [健康に食べる]

世界で一番(ACE)の健康長寿を目指しましょう